

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	2190200028
法人名	特定非営利活動法人 だいにんの花
事業所名	特定非営利活動法人 小規模多機能型居宅介護事業所 だいにんの花
訪問調査日	平成 20 年 8 月 7 日
評価確定日	平成 20 年 9 月 27 日
評価機関名	旅人とたいようの会

項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 9月18日

【評価実施概要】

事業所番号	(評価機関で記入) 2 1 9 0 2 0 0 0 2 8		
法人名	特定非営利活動法人 だいにんの花		
事業所名	特定非営利活動法人 小規模多機能型居宅介護事業所 だいにんの花		
所在地	岐阜県関市西神野605-1 (電話) 0575-20-0017		
評価機関名	NPO法人 旅人とたいようの会		
所在地	岐阜県大垣市伝馬町110番地		
訪問調査日	平成20年8月7日	評価確定日	平成20年9月27日

【情報提供票より】(20年 7月22日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 19年 3月 28日
職員数	11 人 常勤 6人 非常勤 5人 常勤換算 8.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2階建て	2階 ~	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自)

宿泊費(1泊)	1,300 円程度			
食材料費	朝食	400 円	昼食	800 円
	夕食	800 円	おやつ	円
その他日常生活において必要な費用	1日につき、およそ なし 円 ~ 円程度			

(4) 登録者の概要 (7月 22日 現在)

登録人数	12名	男性	4名	女性	8名
要介護1	1名	要介護2	7名		
要介護3	1名	要介護4	1名		
要介護5	名				
要支援1	名	要支援2	名		
年齢	平均 83.4歳	最低 73歳	最高 94歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	中濃厚生病院、今峰クリニック、後藤歯科医院
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「家庭的な雰囲気の中でそのらしさを大切にしましょう」という理念の下、利用者それぞれが、自宅の家庭のリビングでくつろぐように過ごせることと、臨機応変な対応を目指した支援を行っている。職員手作りの竹竿を使ってのソーメン流しや、利用者の家族支援も巻き込んでのそば打ち会を行ったり、隣接する同一法人のグループホームと一緒に地元の地域社会との連携もよく、地域の祭りや、やきいも大会等への参加をはじめ、道路をはさんだ向かい側にある「交流センター」に出掛けたりと、地元婦人部のボランティア等近隣住民や子供達と、日常的にまたイベントを通じて、双方向の交流が多い。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	平成19年3月28日開設
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回が初めての評価であり、管理者は自己評価及び外部評価の意義を理解し、ミーティング等で職員の意見も聞いたりはしたが、今後に向けて、職員全員でのさらなる取り組みに期待したい。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、民生委員、自治会長、利用者代表、理事長、ケアマネージャー、および市役所からの参加を得て、これまでに2回開催し、現状を話し合ったりしながら、サービス向上に役立つ活発な情報交換を行った。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族との連絡帳「あったか通信簿」に日々の歩みや食事のこと等を知らせたりしている。また文字にしまうより、言葉で伝える方が良いと思われる内容については、送迎の機会に家族にさりげなく、しかも確実に伝えるよう、プライバシーにも細やかな配慮をしている。また家族の訪問は多い方だと認識しているので、その機会を生かして意見を聞くようにしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	自治会に入り、回覧板の受け渡しや、焼きいも大会等の地域の行事に参加したり、クリスマス会等の事業所の行事に招待したり、散歩や買い物を通じての日常的な交流もある。また事業所のすぐ向かい側にあり、地元婦人部のボランティアで運営される「交流センター」には、コーヒーを楽しみに出掛ける習慣もある。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「家庭的な雰囲気の中で、その人らしさを大切にしましょう」の理念を事業所としてかかげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	利用者が自分の家庭のリビングに居るようにくつろいで生活できることを目的に、職員は名札の裏に、理念を書き込み日々実践している。また月1回の定例および不定期の勉強会等で、折にふれ話し合っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に入り、回覧板の受け渡しや、焼きいも大会等の地域の行事への参加や、クリスマス会等の事業所の行事に招待したり、散歩や買い物を通じての交流もある。また事業所のすぐ向かい側にある<交流センター>へ出掛けては、コーヒーを楽しんだりしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価の意義は理解しており、ミーティング等で職員の意見を聞くことはしたが、今回が初めての評価であり、取り組みについては、まだ充分に行なわれていないところもあった。		今回の経験を生かし、職員全員参加による十分な意見交換をしながら自己評価を行い、また外部評価の結果も前向きに受け止めて、職員みんなで具体的な目標を話し合っ、今後も試行錯誤を続けながら、より良い方向に改善をしていかれるよう期待したい。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議はこれまでに2回開催して、現状を話し合ったりしながら、サービス向上に役立つ活発な情報交換を行った。民生委員、自治会長、利用者代表、理事長、ケアマネージャー、および市役所からの参加も得られたが、多方面からの参加が出来る状態はまだ作られてはいない。		運営推進会議の開催パターンを、曜日や時間帯を多種類にして、多方面からの参加が得られるよう考慮されたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村との行き来が多く、折にふれ現状を話し合ったり、困難事例の相談を受けたりと、サービス向上に役立つ情報交換を行っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	連絡帳「あったか通信簿」に日々の歩みや食事のこと等を知らせたりしている。また文字にしまうよりは、言葉で伝える方が良いと思われることは、送迎の機会に家族にさりげなく、しかも確実に伝えるようプライバシーにも細やかな配慮をしている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問は多い方でその機会には、雑談の中からも意見が聞けるように、話しやすい雰囲気作りに努めてはいるが、十分な意見が出てこない。	○	家族等が、運営推進会議に参加し、気軽に話し合いながら建設的な意見交換ができるよう、さらに場面作りや状況作りに期待したい。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	これまでは、職員の離職、異動はないが、職員の異動が発生する時には、利用者のみならず、家族へもできるだけの配慮をしていく取り組みをしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部から講師を招いて研修を行う等、内外の研修の受講を行い、出席出来なかった職員にも回覧はしているが、育てるまでの積極的プログラムは作られていない。	○	研修の情報等を展開したり、研修プログラムを作ったりして、今後も職員がより多くの研修に参加出来る工夫に期待したい。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ネットワークを通じて同業者と、相互訪問等についての電話での話し合いは行っているが、まだ実践には至っていない。	○	利用者共々、他の事業所との交流を図っていこうとの計画が立てられ、既に声掛けも行っているため、今後の実践に向けての、さらなる発展に期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>サービス開始の前に、家族も含めて見学に来てもらい、レクリエーションに参加してもらったりして、回数を増やしなが様子を見る等、馴染みやすい支援を行っている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしなが喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>「利用者が出来ることをやっていただく」ことにしているので、得意なお任せするし、教えてもらったりもする。利用者の生活歴の把握や日常生活の観察に努め、＜仕事のために通勤しているつもり＞でいられる利用者が、仕事としていそいそと働く姿を見守る場面もあった。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>過去の仕事や暮らし方、興味等を、利用者の様子や家族の話から把握するようにしている。家庭における暮らしぶりには、口を出し過ぎないようにしながら、本人本位を重視して見守っている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>チームで担当者を決め、アセスメントやモニタリングを行い、定例ミーティングでは、ケアマネージャーも一緒に話し合い、家族や医師と連携しながら介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>期間ごとの計画見直しの他、ケースミーティングやケア会議等の他、家族との話し合いも大切にして、臨機応変な見直しを行っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族との話し合いを行い、要望を生かした支援をしている。独居の利用者には、食の安全のために、送迎の機に冷蔵庫の確認をし、場合によっては食事作りもしている。		
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望のかかりつけ医との関係を大切にしている。家族による通院支援が基本のため、受診前後の内容連絡を密にしている。また往診も受け入れている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用開始時に、利用者および家族とは、重度化した場合、「ここまでなら・・・」という話し合いはしている。また話し合いの場は継続的に持つようにし、かかりつけ医や職員間でも話し合っている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	書類等は事務所の一定の場所に保管し、個人情報の取り扱いには充分配慮している。利用者の誇りを大切にして、声かけや言葉遣いには気を付けているし、ミーティングでも話し合っている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	希望を聞いたり、過去を共有する努力をして、それぞれの利用者が「したい」ように出来ることを第一にして、レクリエーションにしても、提示やお誘いはするけど、参加は個人の好みとペースに沿うように支援を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員と一緒に食卓を囲み、食事の支度や片付けも一緒に行っている。メニューは利用者の好みを聞きながら、職員全員で考える。季節の特別メニューや、利用者の家族がお得意のそば打ちを、利用者全員で楽しんだり、月に一回は、全員で外出に出かけることを楽しみにしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は毎日も可能で、朝一番にお風呂の準備がしており、利用者は希望の時間帯に、ゆったり入浴を楽しむことができる。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	歌好きの利用者が多く、カラオケはよく盛り上がっているし、同一法人から体操コーチに来てもらって体操をしたり、書道が得意な利用者を書いてもらった部屋名を、見栄えよく掲示したり等、利用者の好きなこと、出来ることを生かした支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	車椅子の利用者も一緒に、散歩や買い物を兼ねて大型スーパーに行ったり、そのフードコートで食事をしたり、お花見や花火、祭り見物等に出かけたりしている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間のみ、玄関に施錠しているが、日中の施錠はしていない。事業所が二階にあるので、安全のため階段には、手作りによる飾り竹囲いのような柵が配置してある。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	法人全体の防災訓練は、年に2回実施しているが、避難経路についてや日頃の取り組み、特に夜間帯についての検討の必要を認識しているが、実施はされていない。	○	地域の協力も得られるよう早急に対策を立てられたい。また二階であることを考慮して、地域の協力を得ながらの訓練も実施されることを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量と水分量のチェックを行い、栄養バランスや利用者一人ひとりの状態を、看護師も確認している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	春のお花見、夏のそうめん流し、秋の焼きも大会等、季節が感じられる支援をしながら、それらのイベントの写真や、日々の暮らしの中の写真等を貼ったりしている。また書道が得意な利用者に部屋名を書いてもらい、見栄えよく掲示したりしている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッドや寝具は全て設備されているが、持ち込むことも可能にしている。利用者の好みを把握しており、例えば歌が好きな利用者が泊りの日には、部屋に歌詞を貼ったりして温かく迎える等の配慮をしている。		